

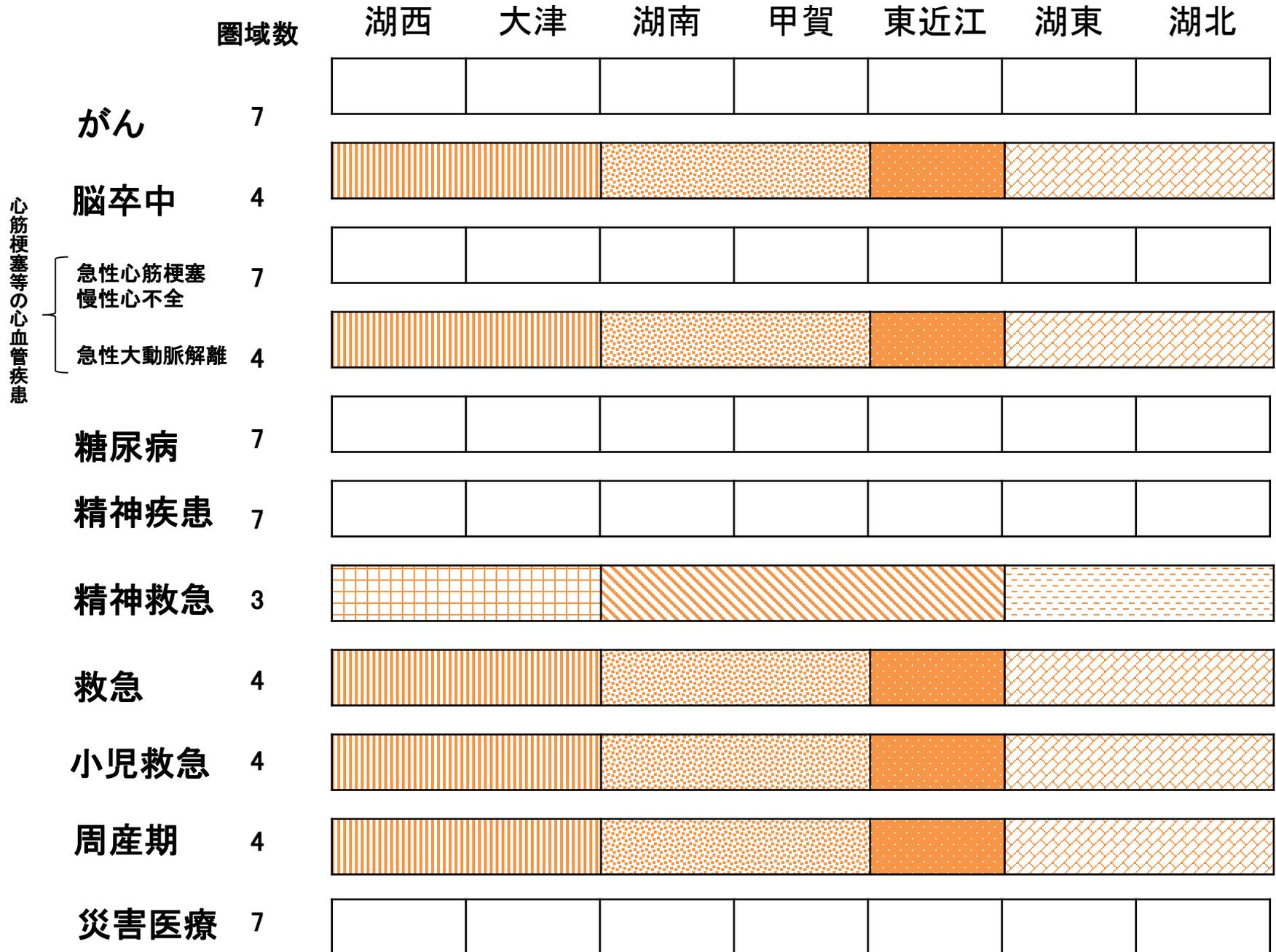
# 小児医療の現状と課題

(1) 小児救急医療

(2) 小児在宅医療

令和元年度第2回地域医療構想調整会議 資料

# 各分野における圏域設定にかかる検討状況



# (1) 小児救急医療 (滋賀県保健医療計画P130)

## 滋賀県保健医療計画における目標と現状について

### 目指す姿

- ▶ 良質かつ適切な小児医療を受けることができる。
- ・各二次および三次医療機関が担う医療機能が明確になり、機能分担と連携が強化されている。
- ・初期、二次および三次医療機能の担う役割に合致した患者が受診している。

### 取組の方向性

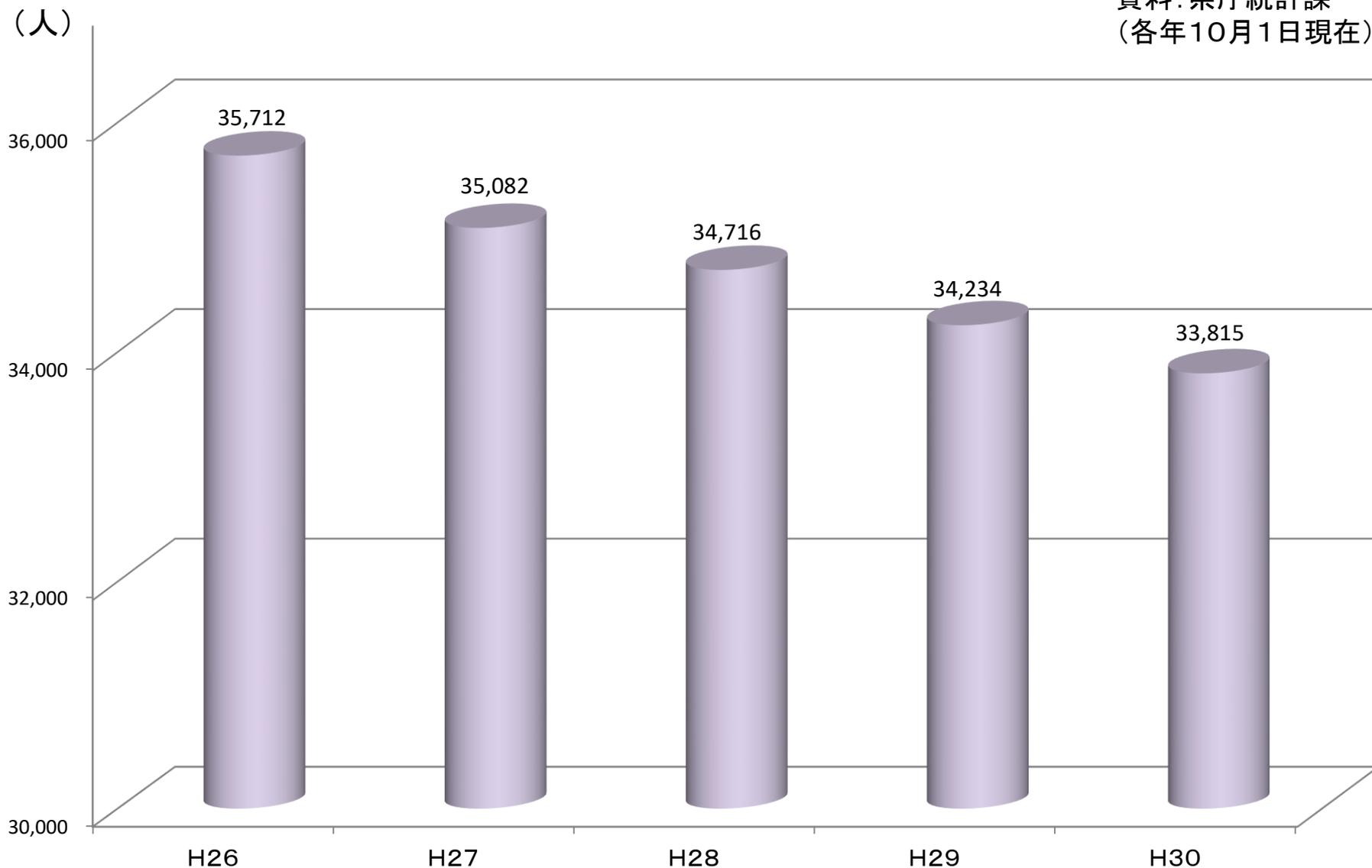
- (1) 小児救急医療に関する圏域の見直し
- (2) 小児救急医の効率的な活用
- (3) 二次救急医療機関と開業小児科医師との連携
- (4) 小児科を専門としない医師による初期小児救急医療の強化
- (5) 保護者への啓発

### 《数値目標》

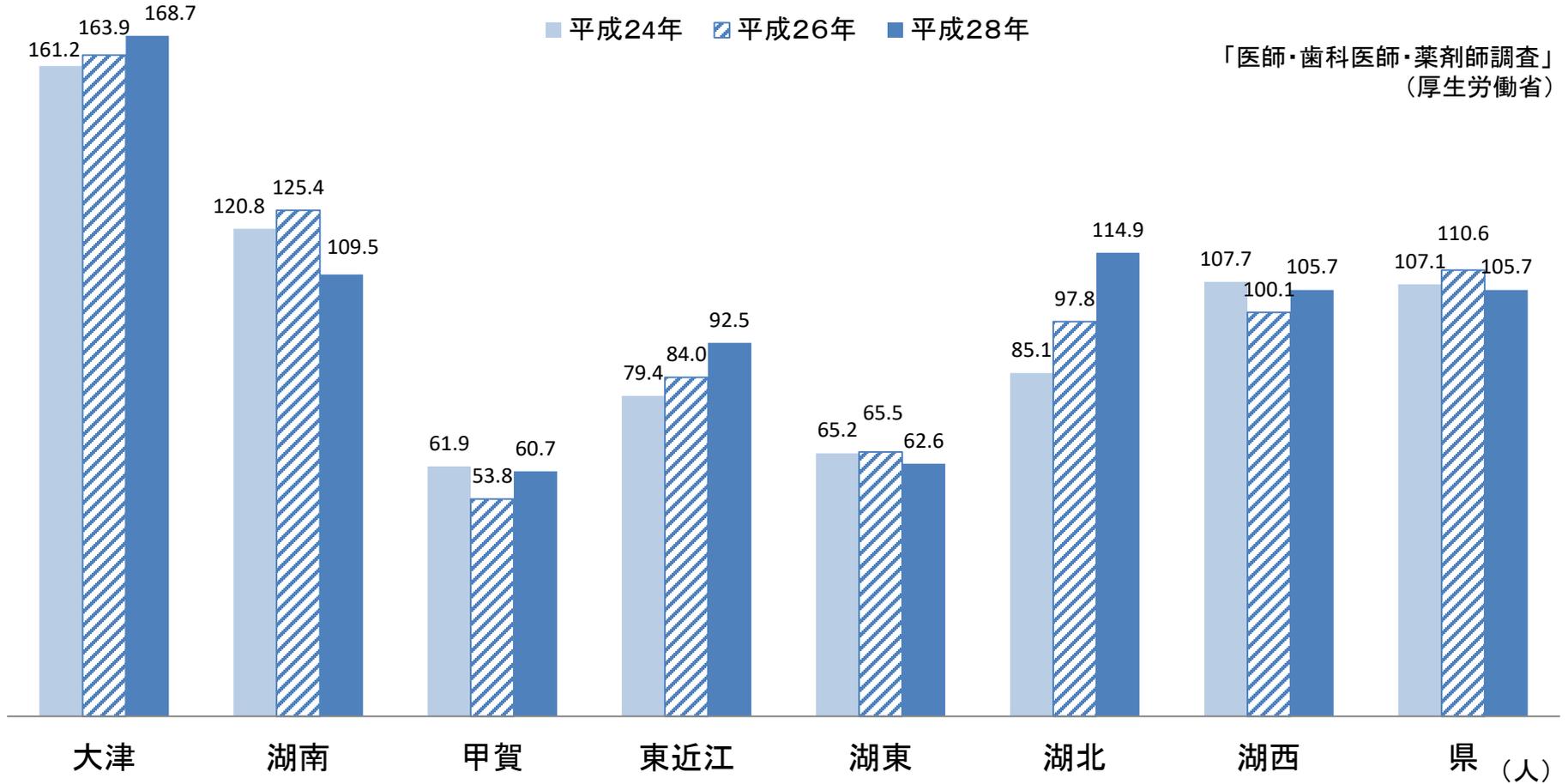
目標項目	現状値 (県全体)	目標値 (H35)	備考
小児救急搬送症例における受入不可となった件数の割合	7.7 (H27)	7%未満	
小児人口10万人あたりの時間外外来受診人数	19,014人 (H28)	18,000人以下	

# 東近江医療圏小児人口の推移

資料：県庁統計課  
(各年10月1日現在)



# 人口10万人あたり小児科医師数



圏域	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西	計
平成24年	79	64	13	27	15	20	7	225
平成26年	80	67	11	28	15	22	6	229
平成28年	80	58	12	30	14	24	6	224

# 初期救急医療体制

圏域名	在宅当番医制	共同利用型	休日急患診療所
大津	—	○	—
湖南	—	—	○
甲賀	—	○	—
東近江	○(東近江医師会)	—	○(2か所)
湖東	—	—	○
湖北	—	—	○
湖西	—	—	—

# 二次救急医療体制(小児救急医療支援事業)

圏域名	参加医療機関
大津	大津赤十字病院（共同利用型）
湖南	済生会守山市民病院、済生会滋賀県病院
	近江草津徳洲会病院
甲賀	公立甲賀病院（共同利用型）
東近江	近江八幡市立総合医療センター
	東近江総合医療センター
	日野記念病院
湖東	彦根市立病院
湖北	長浜赤十字病院、市立長浜病院
湖西	高島市民病院

大津市医師会と協力病院(京都大学付属病院)が共同で診療

甲賀湖南医師会、協力病院(紫香楽病院、京大病院)、拠点病院(公立甲賀病院)が共同で診療

# 休日急病診療所などの体制（小児科領域）

平成30年7月現在  
医療政策課から提供

**近江八幡休日急患診療所**  
土・日・祝・年末年始  
内科・小児科・外科  
内科・小児科:1名  
医師会38名で担当

**長浜米原休日急患診療所**  
日・祝・年末年始  
内科・小児科  
小児科:1名  
医師会69名で内科、小児科に振り分け(年2回程度)

**彦根休日急病診療所**  
日・祝・年末年始  
内科・小児科  
小児科:1名  
医師会19名で担当

**湖南広域休日急病診療所**  
日・祝・年末年始  
内科・小児科  
小児科:通常期1.5名、繁忙期2名  
医師会23名、滋賀医大32名で担当

**東近江休日急患診療所**  
日・祝・年末年始  
内科・小児科・外科  
内科・小児科:1名  
医師会16名で担当

**大津地域小児急病診療室**  
土・日・祝・年末年始  
小児科  
通常期1名、繁忙期2名  
医師会32名、京大18名で担当

**公立甲賀病院(小児救急拠点病院)**  
土・日・祝・年末年始  
小児科1名  
医師会3名(1名は紫香楽病院)、  
京大4~5人、甲賀病院3人で担当



# 小児救急電話相談事業

## 小児救急電話相談事業

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
相談件数（件）	16,830	18,912	18,791	20,306	19,288	19,402	19,035

# 小児（0～15歳）の救急車搬送状況

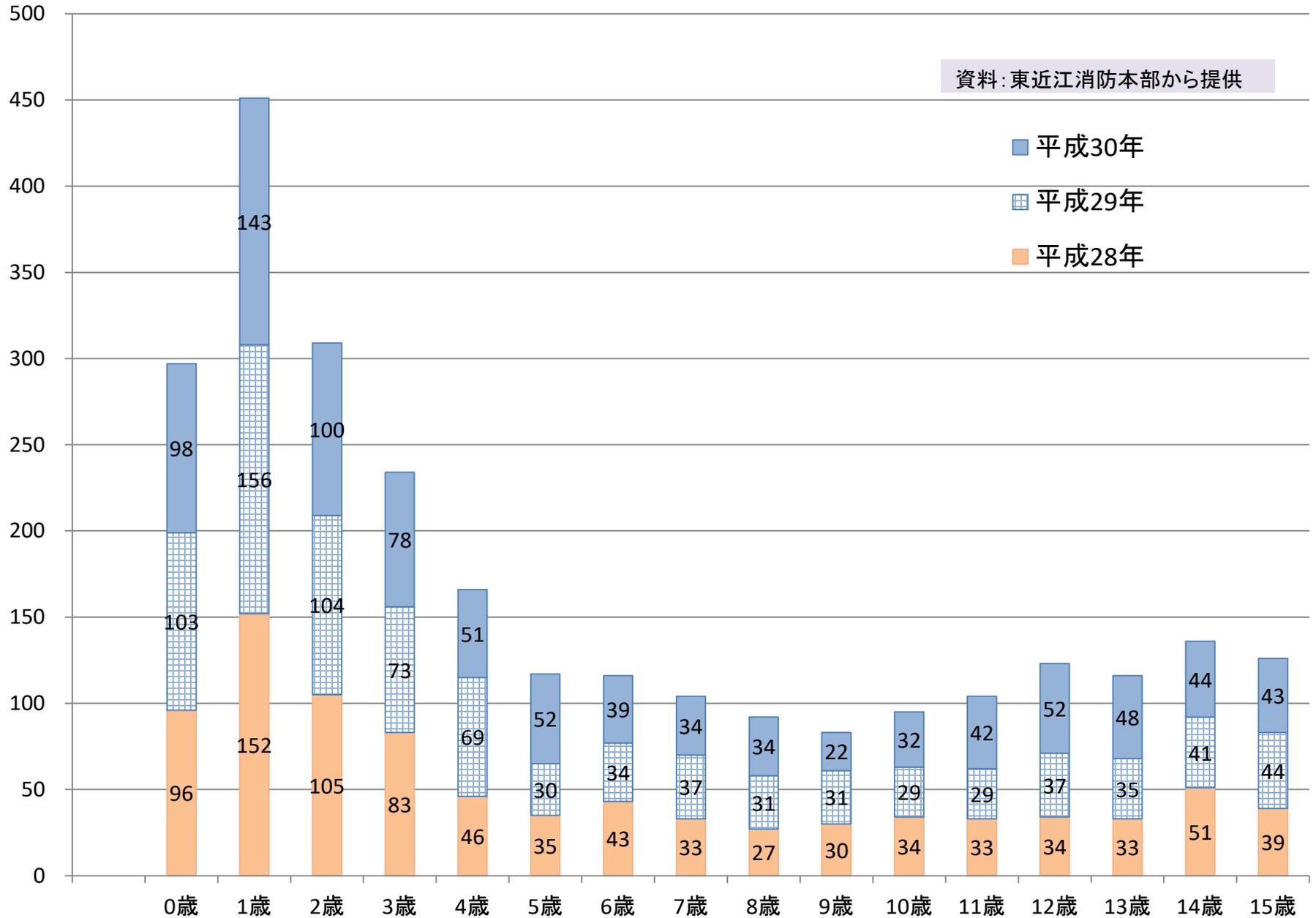
消防機関	搬送件数		搬送なし
	件数	成人含む搬送全体割合(%)	
平成28年	825	9.4	49
平成29年	818	8.6	69
平成30年	852	8.6	60

資料：東近江消防本部から

（愛荘町分除く）

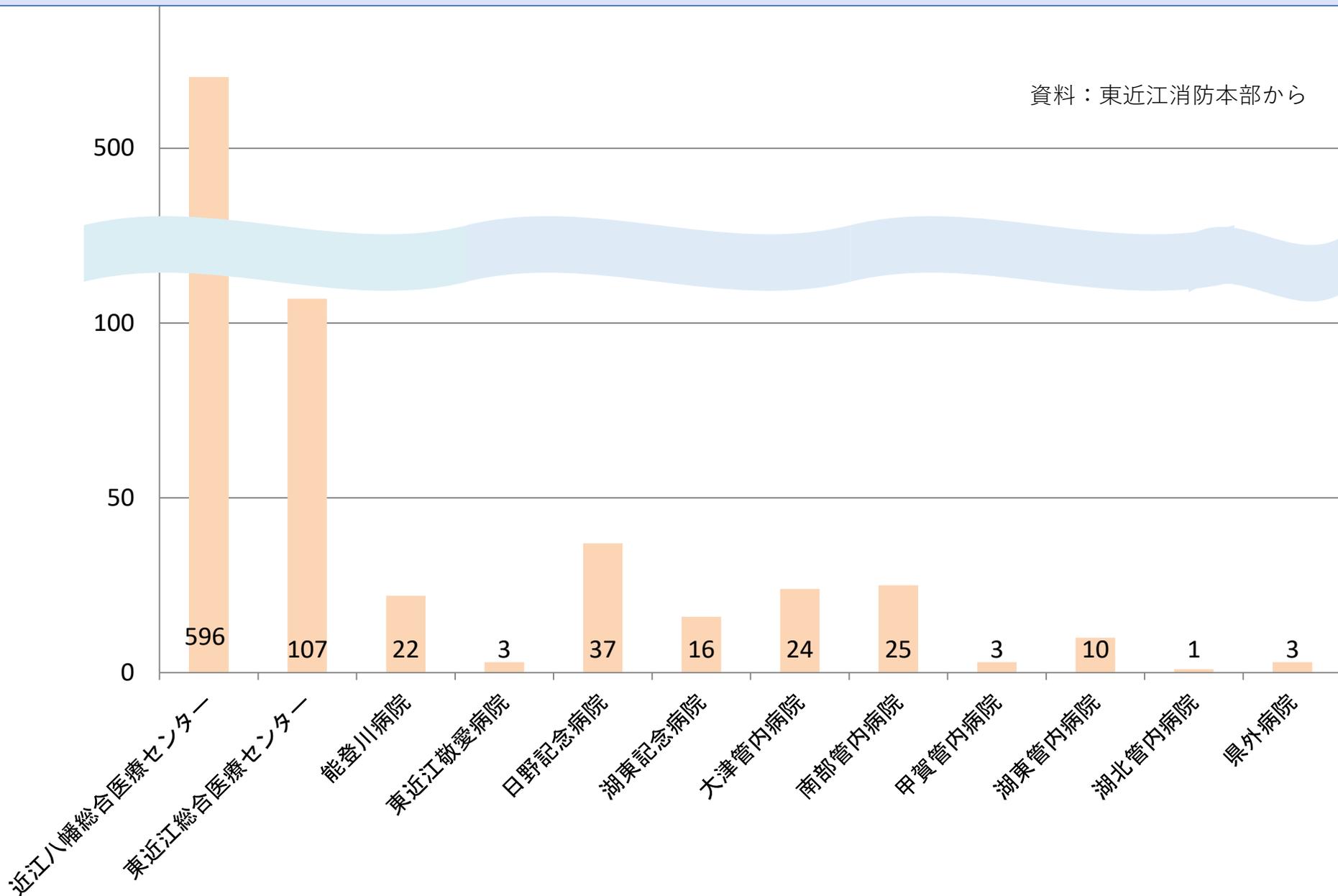
# 年齢別救急車搬送状況（平成28年～30年累積）

資料：東近江消防本部から提供



# 医療機関別小児の救急車搬送状況

資料：東近江消防本部から

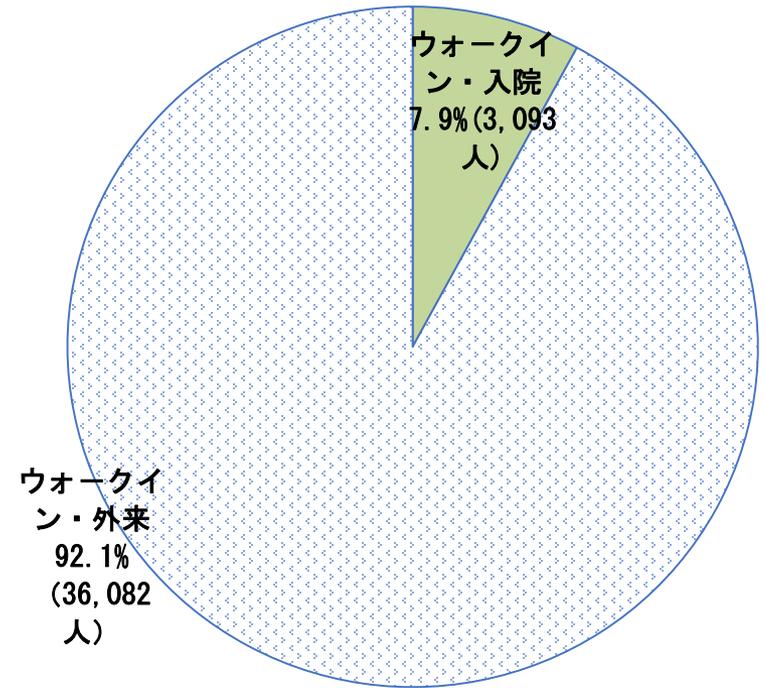
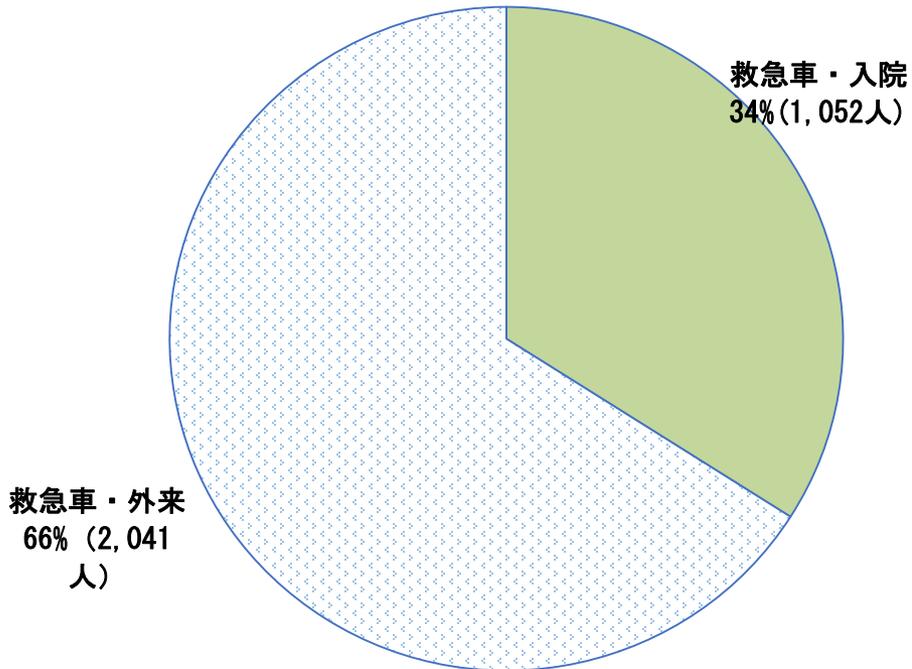


# 救急受診方法別 受診結果 (入院・外来)

①

滋賀県

計 42,268人  
(H29年度 40,585人)

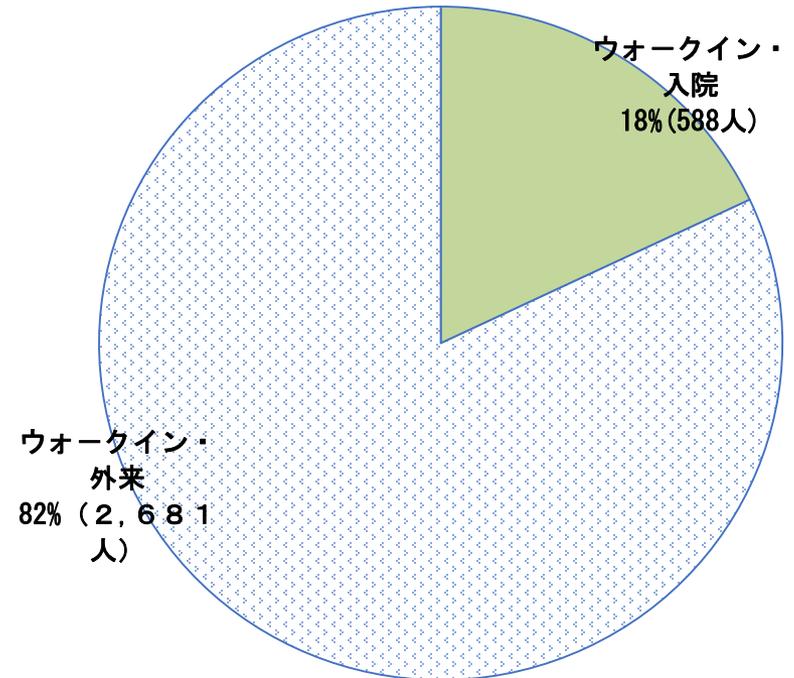
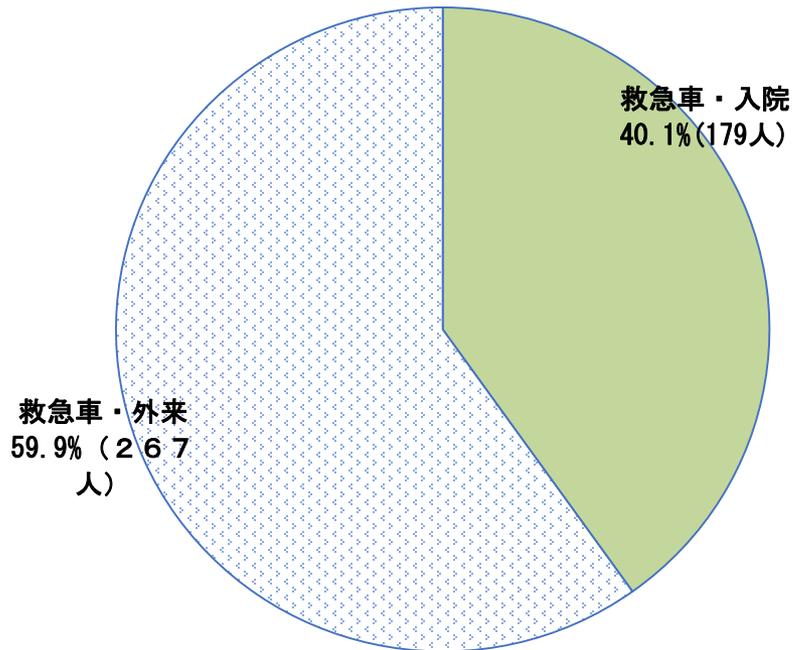


出典：平成30年度小児救急医療支援事業補助金  
(補助対象+補助対象外)

# 救急受診方法別 受診結果（入院・外来）

## ② 近江八幡市立総合医療センター

計 3,715人  
(H29年度 3,280人)

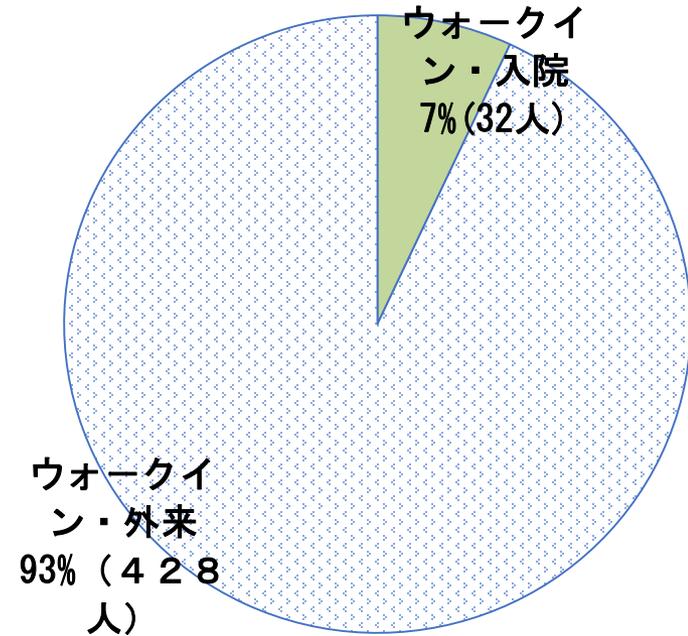
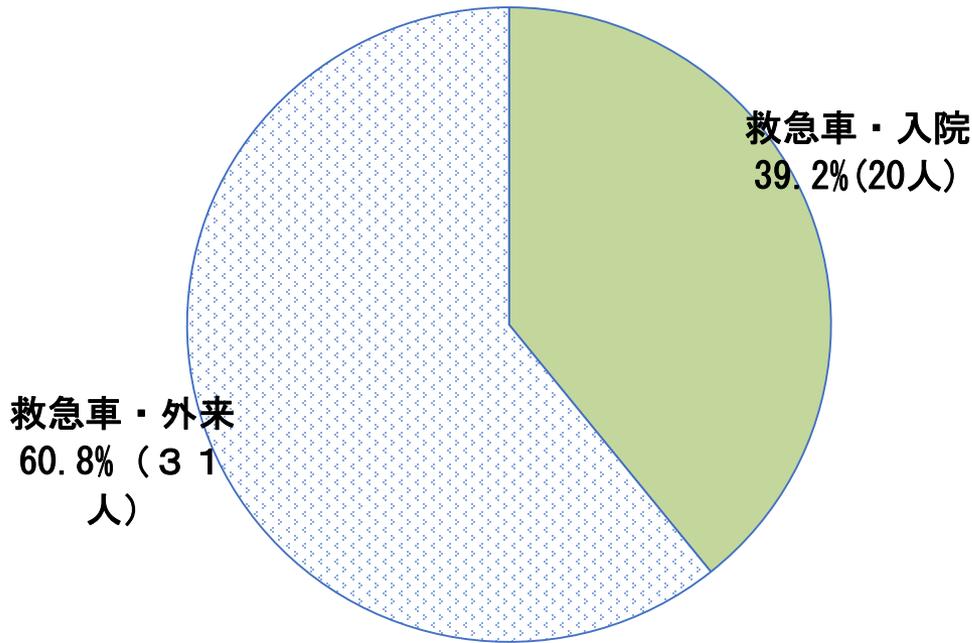


資料：平成30年度小児救急医療支援事業補助金  
(補助対象+補助対象外)

# 救急受診方法別 受診結果（入院・外来）

## ③ 東近江総合医療センター

計 511人  
(H29年度 436人)



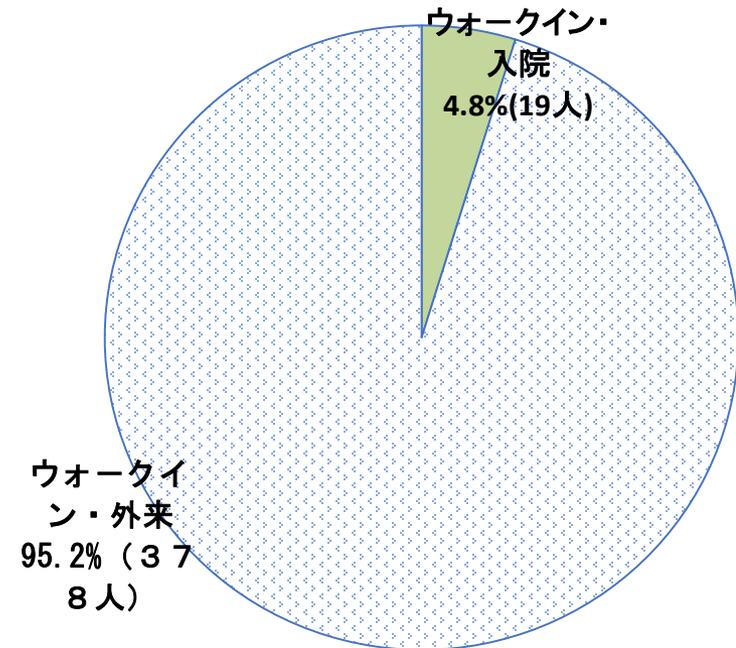
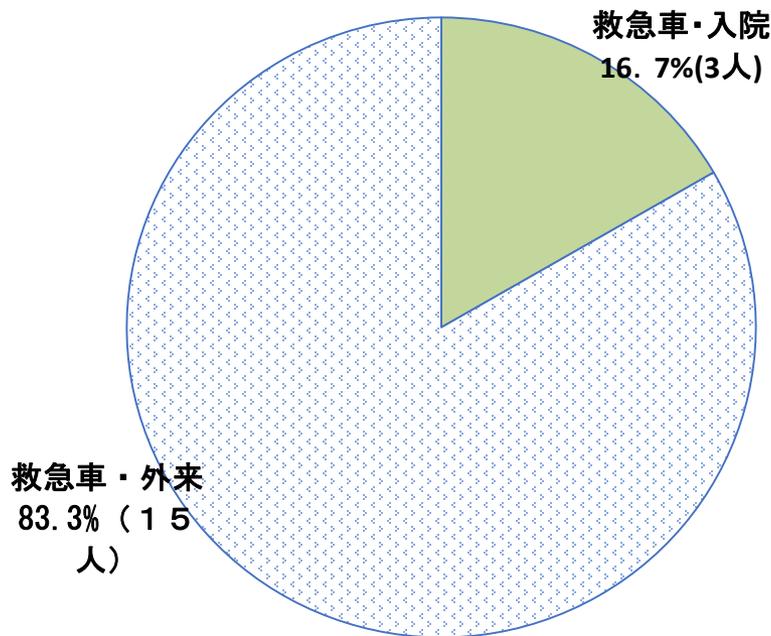
資料：平成30年度小児救急医療支援事業補助金  
(補助対象+補助対象外)

# 救急受診方法別 受診結果（入院・外来）

4

日野記念病院

計 415人  
(H29年度 498人)



資料：平成30年度小児救急医療支援事業補助金  
(補助対象+補助対象外)

# 時間外外来受診者（救急搬送含む） 平成30年度

(人)

	受診人数
東近江敬愛病院	62
湖東記念病院	91
能登川病院	—

「—」は未集計

東近江医療圏 時間外外来受診者数  
計 4,794人（5病院のみ）

# 滋賀県保健医療計画における目標と現状

## 目指す姿

- ▶ 良質かつ適切な小児医療を受けることができる。
- ・各二次および三次医療機関が担う医療機能が明確になり、機能分担と連携が強化されている。
  - ・初期、二次および三次医療機能の担う役割に合致した患者が受診している。

## 取組の方向性

- (1) 小児救急医療に関する圏域の見直し
- (2) 小児救急医の効率的な活用
- (3) 二次救急医療機関と開業小児科医師との連携
- (4) 小児科を専門としない医師による初期小児救急医療の強化
- (5) 保護者への啓発

## 《数値目標》

目標項目	現状値（県全体）	目標値（H35）	現状（H30）
小児救急搬送症例における受入不可となった件数の割合	7.7 (H27)	7%未満	2.54% (東近江医療圏域内)
小児人口10万人あたりの時間外外来受診人数	19,014人 (H28)	18,000人以下	14,177人 (5病院)

## (2) 小児在宅医療 (滋賀県保健医療計画P137)

### <目指す姿>

医療的ケア児およびその家族が、小児医療における急性期から回復期、在宅医療に至るまでの適切な医療、サービスが切れ目なく受けることができる。

### <取り組みの方向性>

#### (1) 地域における小児在宅医療の連携体制の構築

- ・小児在宅医療を担う人材育成及び資質向上を図る(集合研修・実地研修等)
- ・病院・診療所・薬局・訪問看護等の連携体制づくりを促進  
(退院時の在宅移行支援、緊急時のバックアップ体制の構築等)
- ・医療・福祉・教育等が連携を図り、地域包括ケアシステムの推進(各圏域調整会議等の設置)

#### (2) 小児在宅支援を担う医療機関の拡充

- ・NICU等後方支援病床の整備
- ・レスパイト入院が可能な医療機関及び医療型短期可能事業所の確保

#### (3) 医療的ケア児の災害時支援体制の構築

- ・状況把握し、円滑かつ確実に支援できる体制の構築を図る。
- ・平時からの災害時の備えが出来るよう、災害時個別支援計画の作成支援。

#### (4) 医療的ケア児と家族の交流の支援

- ・日常の情報を共有し、精神的にサポートし合える交流会や学習会の場づくりを支援。

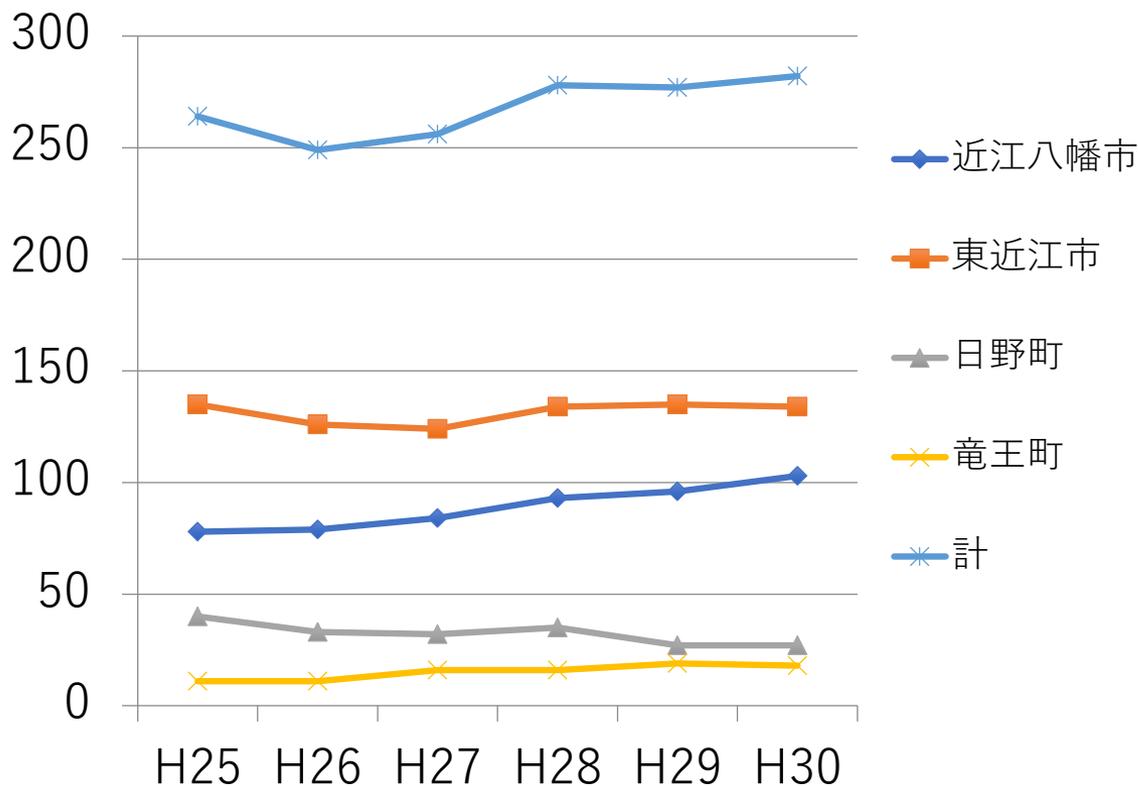
## (2) 小児在宅医療 (滋賀県保健医療計画P137)

### <数値目標>

目標項目	現状値	目標値
NICU等後方支援病床	3/7圏域(H28) 参考：8床	各圏域に1カ所 以上整備 (H35)
レスパイト入院受入可能病院 および 医療型短期入所可能事業所	3/7圏域(H28)	
訪問診療可能な診療所	41診療所	各圏域に現在数 以上整備
小児受入れ可能な訪問看護	58施設	

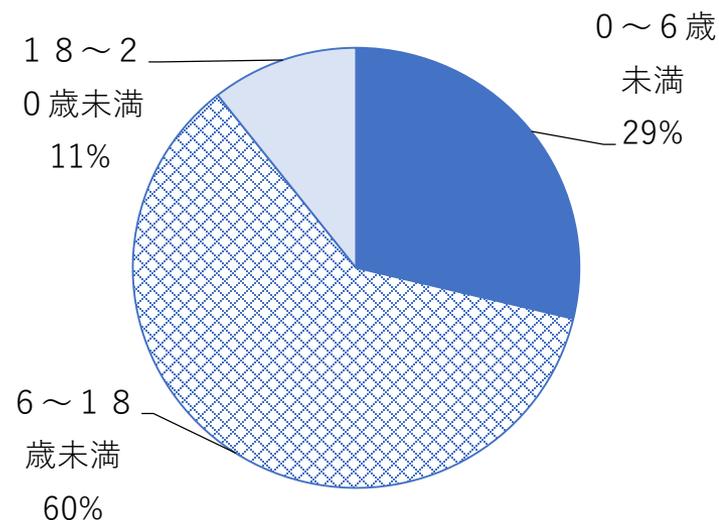
# 小児慢性特定疾病受給者の状況①

## 1. 受給者証所持者数の推移 (各年度末現在)



出典：事業年報、指定難病・小児慢性特定疾病管理システム

## 2. 年齢別受給者証所持者割合(%)

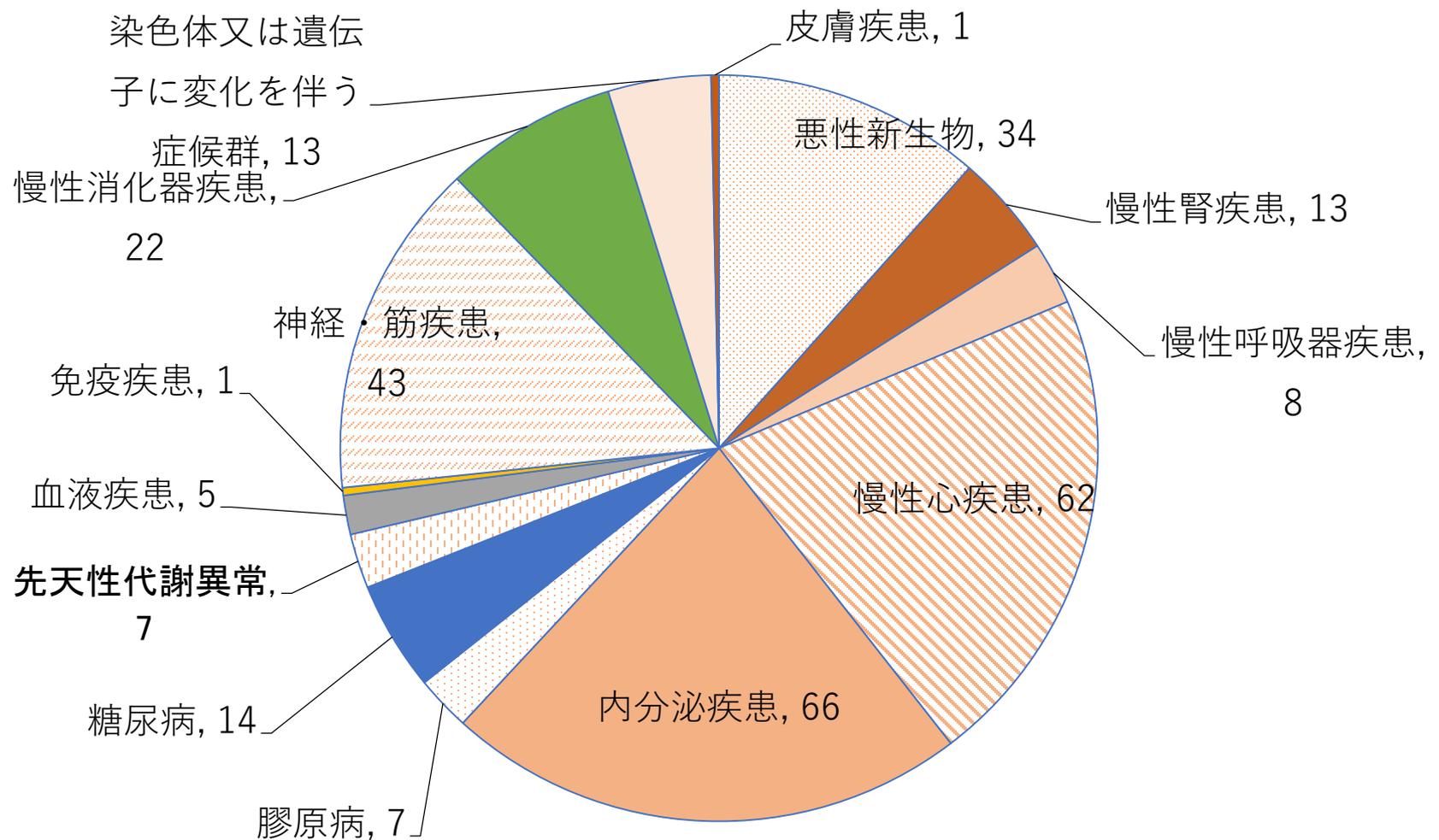


平成30年度末時点

出典：指定難病・小児慢性特定疾病管理システム

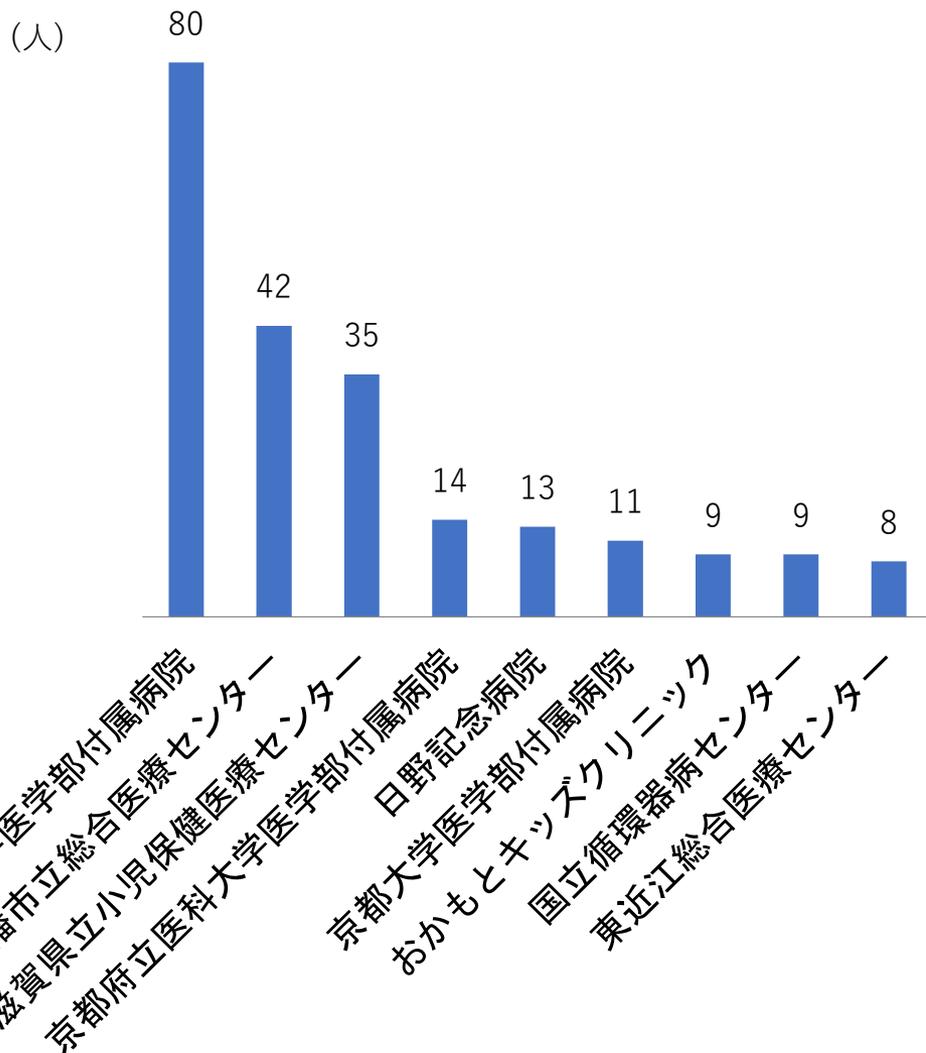
# 小児慢性特定疾病受給者の状況②

## 3. 圏域の登録疾病別人数(人)

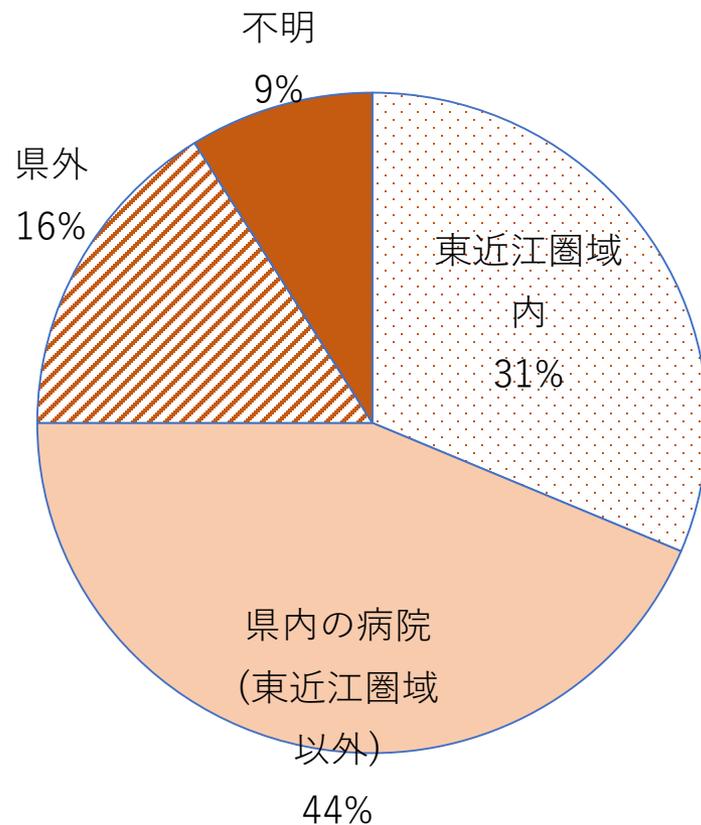


# 小児慢性特定疾病受給者の状況③

## 4. 医療機関別患者数(主な医療機関)



## 5. 所在地別医療機関(主な医療機関)



出典：H30年度新規・更新申請時おたずね票

出典：H30年度新規・更新申請時おたずね票

# 医療的ケアが必要な児の状況①

## 6. 小児慢性特定疾病受給者の必要な医療的ケアの状況

実人数 89人 (通院79人 入院10人)

	計	内 訳			
			通院	入院	
人工呼吸器	20	終日	10	6	4
		夜間のみ	9	8	1
		不明	1	1	
酸素療法	22		19	3	
たん吸引	26	頻回	11	21	5
		数回	11		
		ほとんどいない	2		
		不明	2		
気管切開	9		8	1	
経管栄養	27	胃ろう	7	23	4
		経鼻	12		
		腸ろう	2		
		不明	6		
自己注射	44	糖尿病	13	13	
		成長ホルモン	30	30	
血糖測定	11		10	1	

出典：H30年度新規・更新申請時おたずね票

# 医療的ケアが必要な児の状況②

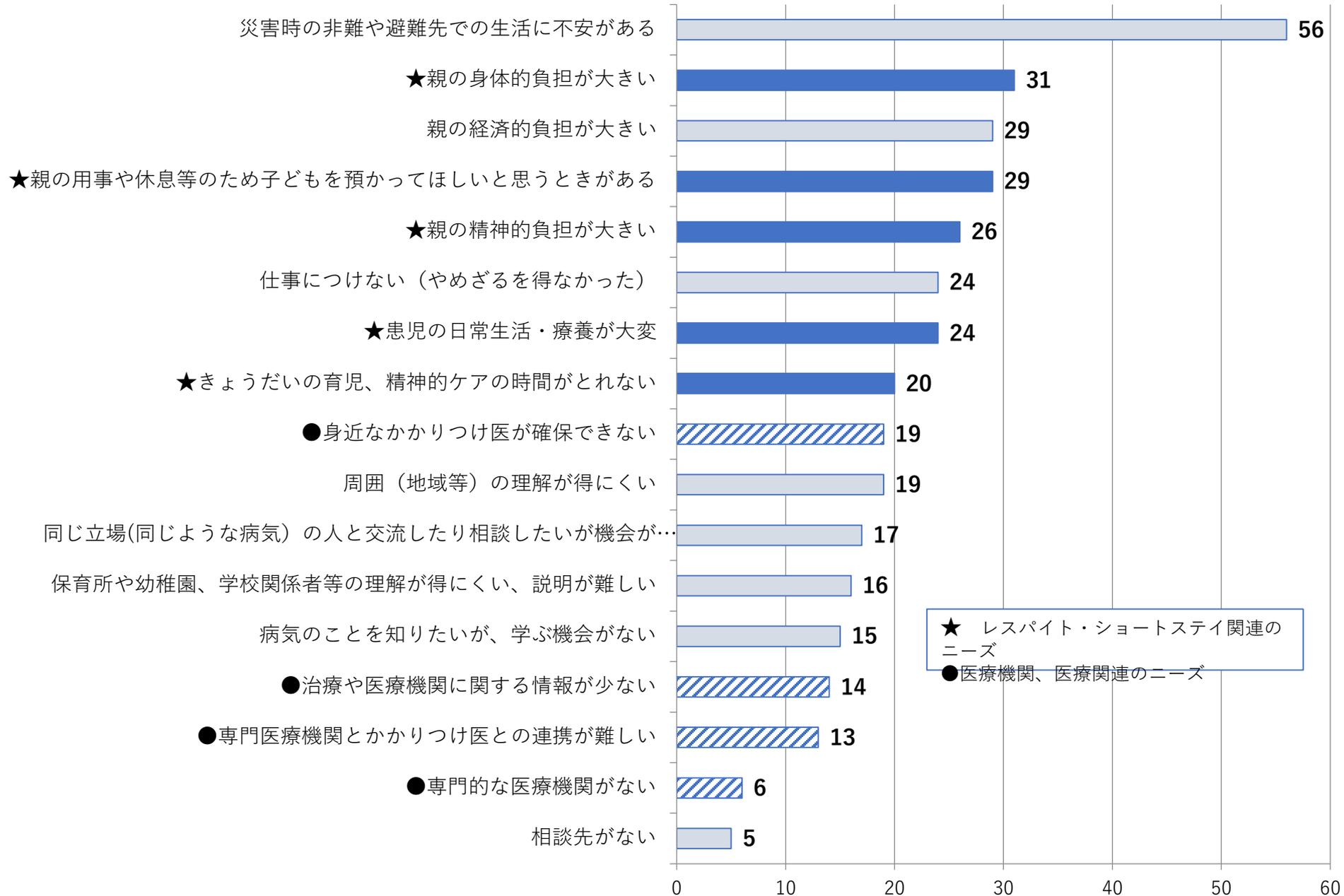
## 7. 圏域の重症心身障害児・者および医療的ケアが必要な人の状況

実 48人 (通院 47人、入院 1人)

	計	内 訳	
人工呼吸器	20	終日	11
		一時的	9
酸素療法	12		
たん吸引	33	気管切開孔	12
		鼻腔口腔	21
経管栄養	35	胃ろう	21
		経鼻	11
		腸ろう	3
中心静脈栄養	2		
導尿	8		

※管内市町、障害者相談支援事業所に対して調査  
 ※把握している「重症心身障害を有する人」「医療的ケアを必要とする人」について回答  
 ※回答のあったもののうち、20歳までの者を集計

# 小児慢性特定疾病受給証所持者の心配なことや困っていること



# 社会資源等の状況①

## 1. 訪問看護ステーションにおける小児（18歳未満）の訪問看護の受入状況

圏域名	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西
施設数	26	22	10	12	9	16	5
受入可能	19	10	6	7	8	10	4

出典:訪問看護ステーション実態調査(滋賀県) 平成29年10月

## 2. 医療型短期入所が可能な事業所

大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西
0	3	1	0	0	1	0

出典：滋賀県保健医療計画

## 3. レスパイト入院実施可能と回答があった病院

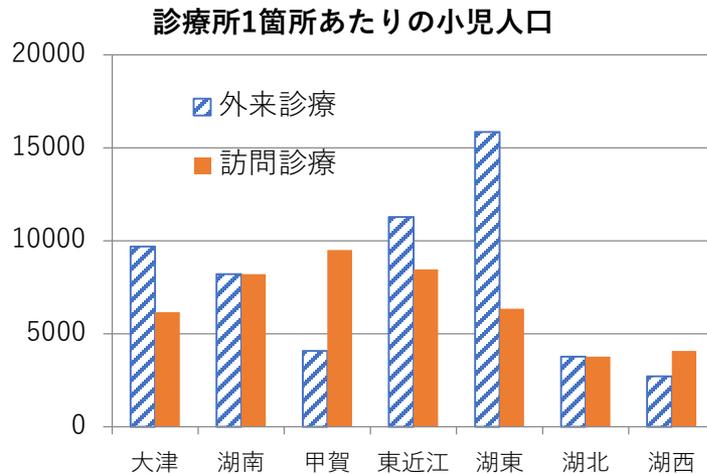
大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西
0	5	0	1	0	2	0

出典：滋賀県保健医療計画

# 社会資源等の状況②

## 4. (小児在宅) 診療可能な医療機関

		大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西
診療所数		291	270	93	113	114	98	31
小児在宅医療	外来診療可	7	9	7	3	2	8	3
	訪問診療可	11	9	3	4	5	8	2
1診療所あたりの 小児人口	外来診療可	9685.4	8211.7	4070.1	11271.7	15848	3771.8	2710
	訪問診療可	6163.5	8211.7	9497	8453.8	6339.2	3771.8	4065



出典：H29医療機能調査

## 5. 医療的ケア児者コーディネーター研修修了者(令和元年度)

大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西
7	8	3	3	4	3	3

# 保健医療計画の数値目標と現状

目標項目	現状値 滋賀県	目標値	現状値 東近江圏域
NICU等後方支援病床	3/7圏域(H28) 参考：8床	各圏域に1カ所 以上整備 (H35)	0床 (近江八幡市立総合医療センター GCU 6床設置予定)
レスパイト入院受入可能病院 および 医療型短期入所可能事業所	3/7圏域(H28)		0カ所
訪問診療可能な診療所	41診療所	各圏域に現在数 以上整備	4カ所
小児受入れ可能な訪問看護	58施設		7カ所